

阿賀浦コミ協だより

令和4年9月15日

広報第38号

阿賀浦コミュニティ協議会

中新田保育園からのお知らせ

休園日に園庭を開放します

保育園の休園日（日曜、祝日）に限り、地域の子育て家庭支援と地域貢献活動の一環として、新園舎の園庭を開放します。

子どもからお年寄りまでどなたでも利用できますので、次のルールを守ってご利用ください。
なお、駐車場は保育園駐車場をご利用ください。

- ① ボールなど園舎にぶつかる（ぶつける）ものは使用しない。
- ② 園舎や遊具に傷をつけた場合（例：ガラスを割ったなど）は保育園に報告する。
- ③ 利用者が複数いる場合は、遊具など譲り合って利用する。
- ④ 開放エリア（遊具のある前園庭）以外へは立ち入らない。
- ⑤ 園庭及び駐車場での事故や盗難などは、自己責任での管理をお願いします。

プールは利用できません
プールでは遊ばないでください

保育園のトイレは利用できません
農村公園のトイレをご利用ください
（冬季間は閉鎖されます）



※出入口は駐車場南側
（遊戯室に向かって右側）
です



阿賀浦地区(大安寺)ゆかりの「坂口安吾のすべてを知る講座」スタート

2022年6月25日(土)に第1回目の「坂口家と坂口安吾を学ぶ」講座がスタートしました。

坂口安吾と坂口家を学ぶ

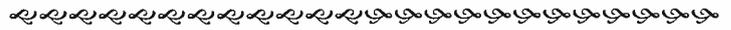
新潟市秋葉区の阿賀浦コミュニティ協議会では、今年度、阿賀浦地区(大安寺)ゆかりの著名な文豪「坂口安吾」を学び・知り・理解を深めるための講座を開催致します。講師には、地元新潟出身の若月忠信先生をお招きし、10回にわたり講義を頂きます。また、安吾に豊富な知識をお持ちの特別講師もお招きする予定です。下記募集内容をご覧ください、奮ってご参加ください。



《坂口安吾のすべてを知る講座》

場所：新津地域学園 2F
201 研修室(階段教室)
秋葉区新津東町 2-5-6

日時：第四土曜日(原則)
13:30~15:00



講座講師には地元新潟出身で安吾研究家の若月忠信先生をお招きし10回にわたり講義を頂きます。若月先生はFMにいつ(76.1MHz)で毎週水曜日13:00から「若月文学館」を担当されています。

出席者は事前に申し込み頂いた方に参加して頂いております。第1回目には、64名の方の参加がありました。

第1回目講座開講にあたり阿賀浦コミュニティ協議会、早川会長より本講座の開講の背景について説明がありました。

昨年9月に秋葉区の11コミュニティ協議会の研修会として安吾ゆかりの地を訪ねるイベント、「コミぶら散歩」を行いました。その際参加者のアンケートから、坂口安吾についてももう少し学びたい旨の意見が多数寄せられ本講座開設に至りました。

第1回目の講座では、「坂口安吾入門」として、秋葉区の安吾文学碑2基と檀一雄句碑などに親しむと称して、安吾ワールドの入門編が行われました。

安吾は小学校時代優秀で新潟中学校へ150人中20番の成績で合格しています。しかし中学では人生最初の挫折を経験しています。

安吾の父の政敵による陰謀記事の新聞等掲載などがありだいに登校拒否になり成績不振となりました。私のふるさとの家は、空と海と松林であった。そして吹く風であり、風の音であったと述べています。

今回の10回の講座内容は、講座の翌週の日曜日12:00からFMにいつで放送されます。

●FMにいつURL
<http://www.chat761.com/blg/info/?p=2890>

安吾講座 第2回 「安吾の祖先」 大安寺坂口家の墓所と埼玉県

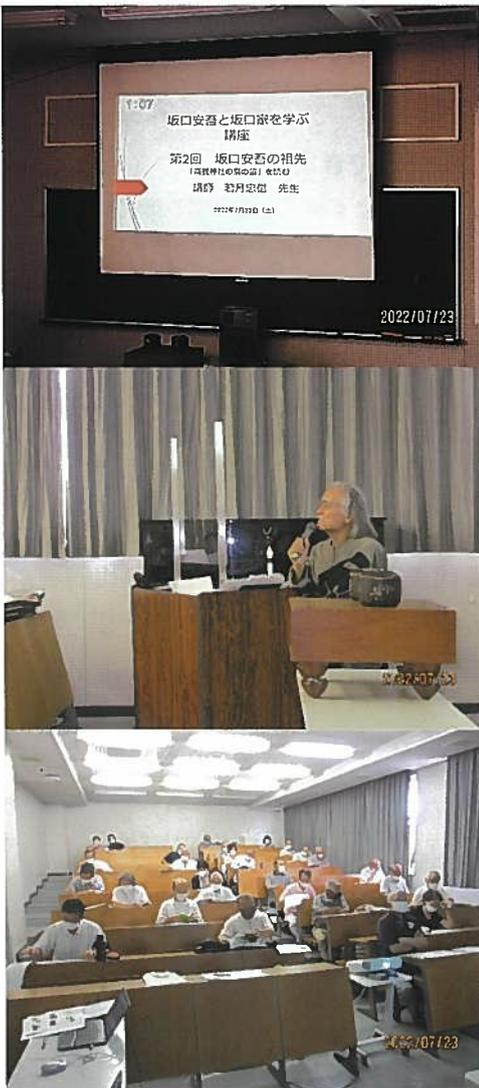
入間郡高麗村：現在の日高市「高麗神社の祭りの笛」を読む。

◆ 全10回の講座予定です。

講座概要

- | | |
|---|---|
| <p>6/ (土)25 坂口安吾入門
秋葉区の安吾文学碑2基と檀一雄句碑などに親しむ。</p> | <p>11/ (土)26 坂口安吾の初恋
矢田津世子の東京の「一之坂」と長野「奈良原城東富士見館」(現 あさま苑)。</p> |
| <p>7/ (土)23 坂口安吾の祖先
大安寺の坂口家の墓所と埼玉県入間郡高麗村「高麗神社の祭りの笛」を読む。</p> | <p>12/ (土)24 坂口安吾の京都時代
車折神社、嵐山、伏見稲荷。</p> |
| <p>8/ (土)27 坂口安吾の小中学校時代
「風博士」を読む。</p> | <p>1/ (土)28 伊東の競輪場事件と檀一雄のカレーライス事件
東條英機の娘由布子さんとのつながり。</p> |
| <p>9/ (土)24 松之山町の安吾碑と「黒谷村」を読む
松之山が舞台の作品。安吾は姉セキが嫁いだ松之山の村山家に度々訪れる。</p> | <p>2/ (土)25 坂口安吾終焉の地
浅草染太郎と相生市 書上邸(旧両毛地域最大の織物買総商)と文学碑2基。</p> |
| <p>10/ (土)29 「風と光と二十の私と」
安吾 20歳の頃に世田谷の下北沢(当時の荏原郡)での小学校代用教員。</p> | <p>3/ (土)18 護国神社境内の寄居浜の坂口安吾碑
「ふるさとは語ることなし」への考察。</p> |

第2回目の講座では先生の一方的な講話ではなく、Q&A形式による参加型の講座となり出席者から質問もたくさんあり和やかな雰囲気でした。



《以下講義抜粋、引用：坂口安吾の旅、若月忠信著》

坂口家の先祖は、備前(佐賀県)唐津の陶工で、江戸の初期、加賀(石川県)の大聖寺に移って九谷焼をつくり、その後多くの従者を連れて越後長岡を経て蒲原の地に定住している。

唐津の先には坂口村がありそこが先祖の地と安吾も檀一雄に語っていた。

安吾の本籍は新潟県中蒲原郡阿賀浦村大字大安寺拾壺番戸(現在の秋葉区大安寺509番地)

この地で坂口一族は阿賀野川沿岸の湿地開墾に立ち向かい土地と富を手に入れた。「阿賀野川の水が枯れても坂口様の金は尽きない」と言われた。

安吾はかねがね『続日本紀』の靈龜二年(716年)駿河、常陸、相模など七か国の高麗人1799人を武蔵の国に移し高麗郡を置くという一文に注目していた。高麗郡とは現在の埼玉県日高市で、そこにあるの高麗神社の祖神は高麗王若光(じゃくこう)である。

昭和26年10月18日、安吾は檀一雄、中野修(出版社)と連れだって実地検証に出かけた。ちょうどその日は祭りの前日、獅子舞や笛の練習風景にでくわす。安吾は笛の音に「遠くはるばるとハラワタにしみいるような悲しさ切なさ」を覚え、その音律に日本の子供のかくれんぼの歌を連想する。

2022年上期の主な行事

1) 阿賀浦地区、クリーン&グリーン作戦実施(4月17日)

4月17日(日)に阿賀浦地区のクリーン作戦が実施されました。昨年は小雨強風でコロナも蔓延しており参加者は少なかったのですが、今年は好天に恵まれ多くの方の参加がありました。阿賀野川堤防周辺のごみを回収しキレイになりました。ポイ捨ての空き缶、ゴミ等が多く、今後マナー改善活動が重要と認識しました。また作業終了後に参加者へ花の苗が配られました。来年はさらに多くの方の参加をお願い致します。

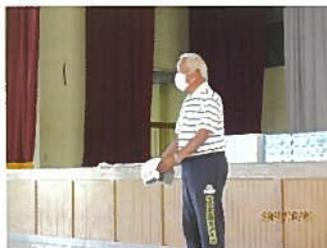


2) 春期フロアカーリング大会(5月29日、阿賀小学校体育館)

5月29日(日)阿賀浦コミュニティ協議会・スポーツ部主催の春季フロアカーリング大会が実施されました。早川会長の挨拶に続き、ストレッチ体操を行い競技が開催されました。競技結果は、

- 優勝** 新金沢町舞花
- 2位** : 東町ゆめクラブ
- 3位** : 新金沢町和楽
- 4位** : 東金沢老友会
- 5位** : 中新田
- 6位** : 大安寺紅

普段の練習成果が発揮できたチーム、できなかったチーム、各々楽しく交流できました。



3) 地域防災教育(6月18日、阿賀小学校)

6月18日(土)に阿賀小学校にて、5,6年生と阿賀浦地区の自治会代表者、満日地区自治会の代表者が参加して地域防災教室が実施されました。講師に新津地区公民館、川近和雄社会教育主事をお招きし、災害時に命を守るにはどのような行動をすべきかを学びました。テキストは新潟県防災局防災企画課作成の「家族防災会議」を使用しました。

講義の後、地域毎に分かれ自治会代表者も参加してハザードマップの確認、避難場所の確認を行いました。日頃から災害時にどのような行動をとれば良いか話し合いました。

自分の地域の災害時の対応方法について普段から家族と話し合っておきましょう。



【阿賀浦コミュニティ協議会事業計画案】

1. 広報部

- ① 阿賀浦コミ協だより発行
 - ・第38号・・・2022/09予定
 - ・第39号・・・2022/12予定
 - ・第40号・・・2023/03予定
- ② ロゴマーク作成

2. 文化教養部

- ① 第14回 芸能祭 (10/16) **中止**
- ② 第13回 史跡めぐりの旅 (10/未検討中)

3. スポーツ部

- ① 春季フロアカーリング大会 (5/29実施)
- ② ソフトボール大会 (7/17実施)
- ③ ソフトボール大会 **中止**
- ④ 秋季フロアカーリング大会 (11/6予定)

4. 生活安全部

- ① 地域防災教育 (6/18実施)
- ② 安全パトロール、防犯灯の維持管理、新設

5. 社会福祉部

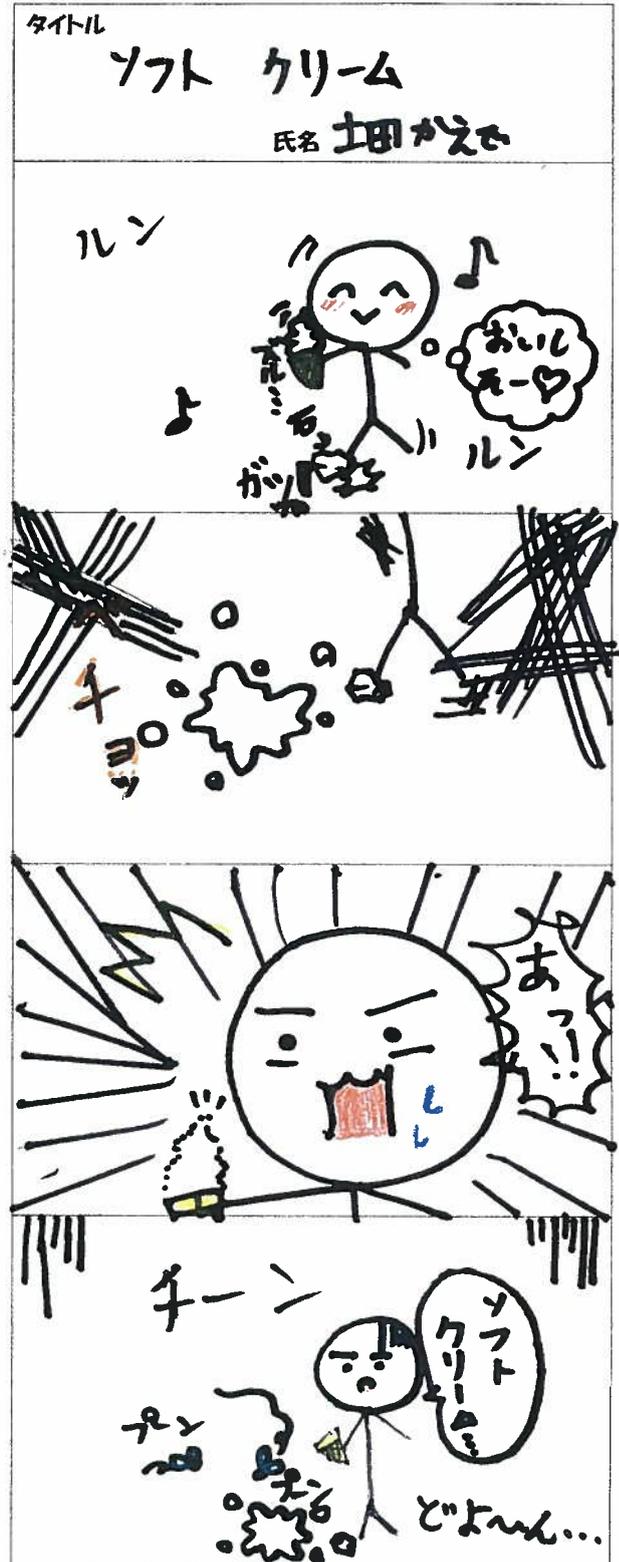
- ① 見守り活動推進、緊急キットの案内配布
- ② 介護予防運動推進、ロコモ体操、ラジオ体操の普及推進

6. 子供育成部

- ① 親子ドッジボール大会 (**11月検討中**)

7. 新規事業 (事務局；坂口安吾と坂口家を学ぶ)

- ① 2022/6～2023/3 1回/月で10回講座開設
- ② 講演会、萩野アンナさん安吾を語る (10/9)



編集後記

ソフトクリーム有る有る
これもまた良い思い出になることでしょう。

かえでさん、石につまずこうが、人生につまずこうがたくましくやりましょう。

人生、楽しんだもん勝ちですよ。

にいつベン講座

～ オヤジギャグを楽しむ～

『ロゴマーク』編

「アノネー阿賀浦コミ協のショがロゴマーク作ったテンがね。」

「地域に公募した中から選んだんと」

「森ゆーや君も応募したテンがね。」

「森ゆーやテ、アノショの弟ラカね。」(森ヨーコの?)

「は～弟がオラの同級生ダがね。」

「実名だとワーリテガンダスケもじってあるロモ」

「オメさんの話し、きわどーテ、冷汗出るイネ」



『中新田保育園』編

「ホイネ、中新田保育園の庭に日曜日入って遊んでもイーてね。」

「このお知らせ園長さんの渡辺哲哉(てつや)さんが徹夜(てつや)して書いたンと」

「オメさんのギャグ、さーめ」

「雪だるまが、サプーだと。」